

4月24日・4月26日
自分たちの町をきれいに
川湯地区の皆さんが清掃活動



手分けして清掃を行う皆さん

川湯温泉第1・第2・第3・敷島町・川湯みどり・川湯駅前
の各自治会の皆さんが4月24日に、川湯温泉市街地と川湯駅前地区の清掃を行いました。

観光シーズンの幕開けを前に地域をきれいにしたいと、例年この時期に行われていますが、今年は阿寒国立公園川湯地域運営協会(福田英敏会長)設立30周年の記念事業として行われました。4月26日には跡佐登自治会の皆さんも地域の清掃を実施。2日間で約300人が参加し、合計でゴミ袋約400袋分のごみを集めました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)



今道東建設工業による道路清掃

クニオカ工業による湯川の清掃



佐藤建設工業による文化センターのソフトボール場整備



協和建設による摩周駅の花壇整備

地域の役に立ちたい

事業所による社会貢献活動

5月19日には、(株)協和建設(高橋政廣代表取締役)の皆さんがJR摩周駅前花壇の整備を行いました。7人が参加し、花壇の土の入れ替えや肥料散布、植栽の一部入れ替えなどを行いました。同社ではほかに、みはらし台団地の防護柵の設置も行っています。

5月21日には、クニオカ工業(岡岡雅文代表取締役)の皆さんが、川湯の敷島みどり橋付近で湯川排水路や河川敷の清掃を行いました。今年で6回目、20人が参加。上流に向かう班と下流に向かう班の2班に分かれ、可燃、不燃に分けてごみを拾い集めました。また同社では5月19日、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に、町内の環境美化を目的として10万円を寄付しました。

5月22日には、(株)今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが、町道弟子屈原野西1号線(摩周観光文化センター先)と鉛別平和線(900草原入り口付近)でゴミ拾いを行いました。この日は65人が参加。同社では、今後も社会貢献活動を継続していきたいとのこと。

5月は、多くの企業の皆さんが社会貢献活動を行いました。5月15日には、(株)佐藤建設工業(佐藤洋司代表取締役)の皆さんが摩周観光文化センターソフトボール場の整備を行いました。今年で3回目です。17人が参加し、タイヤシヨベルで表土を整地し、タイヤローラーで転圧しました。

5月19日には、(株)協和建設(高橋政廣代表取締役)の皆さんがJR摩周駅前花壇の整備を行いました。7人が参加し、花壇の土の入れ替えや肥料散布、植栽の一部入れ替えなどを行いました。同社ではほかに、みはらし台団地の防護柵の設置も行っています。

5月1日

駅で足湯を楽しむ提案
摩周&川湯温泉足湯めぐり号を運行



千歳線からの乗客を乗せ、運転士に花束を贈呈

摩周&川湯温泉足湯めぐり号の歓迎セレモニーが5月1日、JR摩周駅で行われました。この列車は、5月1日~10月31日に運行される釧路発網走行き列車について、駅舎に足湯のある摩周・川湯温泉の両駅での停車時間を延長して、旅の途中で足湯を楽しんでもらおうというものです。運行初日のこの日は、摩周湖観光協会などの皆さんが横断幕で乗客を歓迎。タオルなどをプレゼントしたほか、徳永町長が1日駅長となり、観光のPRを行いました。

5月1日

読み聞かせと切り紙工作を楽しむ
おはなしはらっぱスペシャル



思い思いのこいのぼり飾り作り挑戦

おはなしはらっぱスペシャルが5月1日、弟子屈町図書館で行われました。おはなしはらっぱ(笹島久美会長)の皆さんは、毎週土曜日に図書館で絵本の読み聞かせを行っているほか、小学校でも読み聞かせを行っています。この日は拡大版として、大きな絵本などの読み聞かせが行われました。また切り紙工作も行われ、集まった子どもたちや親子連れなどが、こいのぼり飾りを作って楽しみました。

5月15日

ふるさとの良さを再認識
春のツアーで名木を観光



青空に映える名木に見入る参加者

町が指定した名木を巡るツアーが、5月15日に開催されました。名木は、公募の中から地域の象徴とされているものや歴史的価値があるもの、景勝上優れているものなどを2006年に指定したものです。ツアーは2007年から、春と秋の年2回開催されています。春のツアーは桜を中心に行われており、今回は約30人が参加。好天の中、名木の選考委員長を務めた須田文男さんから、樹齢などの説明を受けながら見学しました。見事な名木に、参加者からは感嘆の声が聞かれました。

5月12日

人が集まる講座づくりチラシ作り教えます
牟田静香さんの講演会



熱く語る牟田さん

弟子屈町商工会(桐木茂雄会長)と(株)北海道中小企業家同友会釧路支部摩周地区会(竹森英彦会長)、ましゅう談話室(鈴木徹代表)共催の講演会「行列のできる講座と思わず手にとるチラシの作り方」が5月12日、公民館講堂で開催されました。講師は、企画した講座を定員割れから平均3.3倍の競争率にさせた経験をもとに全国で講演を行っている牟田静香さん(NPO法人男女共同参画おおた理事長)。イベントや講座の目的に沿った対象者を絞ることが大切と説き、対象者が参加しやすい企画やネーミング、時間設定、キーワードなどについて語りました。当日は定員120人に対して150人の参加があり、講演会自体がまさに「行列のできる」講座となりました。



工事の安全を祈ってくわ入れを行う徳永町長

新校舎建設の安全を願って

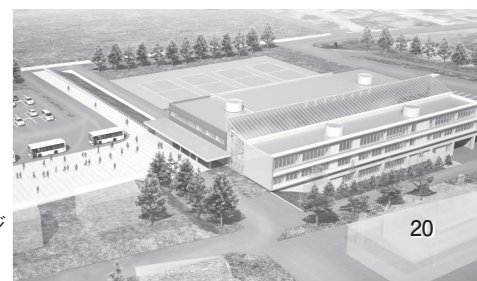
弟子屈中学校改築安全祈願祭

弟子屈中学校改築工場の安全祈願祭が5月18日、現校舎脇の建設工事現場で行われました。安全祈願祭には、徳永町長をはじめ、設計・監理を行う(株)アトリエブントク(札幌市)や施工業者など関係者約80人が出席し、工事の安全を願いました。

弟子屈中学校の改築については、2008年8月に改築検討委員会を設置。同年12月、11社による設計競技により(株)アトリエブントクの作品が最優秀作品となりました。その後も、生徒とのワークショップや、地域の皆さんからの意見を参考に検討を重ね、設計を完了。今回着工となりました。総事業費は12億6千517万6千500円。工期は2011年3月10日までです。

新校舎は鉄筋コンクリート造3階建てで、延べ床面積は5千686.59平方メートル。校舎と体育館、給食センターをひとまとめにし、太陽光発電や、自然光・自然換気による室温管理を取り入れ、利便性と環境に配慮した構造となっています。また、地域の防災拠点としての役割も担います。

徳永町長は「皆さんの熱い思いが形になり、今日という日を迎えることができました」と感謝していました。



新しい弟子屈中学校の完成イメージ